

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成24年11月1日(2012.11.1)

【公開番号】特開2011-78107(P2011-78107A)

【公開日】平成23年4月14日(2011.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2011-015

【出願番号】特願2010-240795(P2010-240795)

【国際特許分類】

H 0 4 B 1/16 (2006.01)

H 0 4 N 7/173 (2011.01)

【F I】

H 0 4 B 1/16 C

H 0 4 N 7/173 6 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月14日(2012.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

選択局の放送波型放送のコンテンツ、又は、前記放送波型放送に対応付けられており、かつ、I P 型放送のコンテンツであって音声又は、動画、音声及び静止画から 1 以上を選択して組み合わせられたコンテンツ、を出力するコンテンツ出力部、及び前記選択局の I P 型放送を出力可能な場合で、かつ、前記選択局の I P 型放送のコンテンツが音声を含む場合には、前記コンテンツ出力部に、I P 型放送の音声出力させ、前記選択局の I P 型放送を出力不可能な場合、または、前記選択局の I P 型放送のコンテンツが音声を含まない場合には、前記コンテンツ出力部に、放送型放送の音声出力させる出力制御部、を備えることを特徴とする放送受信機。

【請求項 2】

前記コンテンツ出力部に優先的に出力させるコンテンツを前記 I P 型放送のコンテンツから前記放送波型放送のコンテンツに変更でき、前記放送波型放送のコンテンツを前記コンテンツ出力部に優先的に出力させることが変更されていた場合に、前記選択局の I P 型放送を出力可能な場合で、かつ、前記選択局の I P 型放送のコンテンツが動画又は静止画を含む場合には、前記出力制御部は、前記コンテンツ出力部に前記選択局の放送波型放送の音声及び、前記選択局の I P 型放送の動画又は静止画を出力させる請求項 1 に記載の放送受信機。

【請求項 3】

選択局の放送波型放送のコンテンツ、又は、前記放送波型放送に対応付けられており、かつ、I P 型放送のコンテンツであって音声又は、動画、音声及び静止画から 1 以上を選択して組み合わせられたコンテンツ、を出力するコンテンツ出力ステップ、及び前記選択局の I P 型放送を出力可能な場合で、かつ、前記選択局の I P 型放送のコンテンツが音声を含む場合には、前記コンテンツ出力部に、I P 型放送の音声出力させ、前記選択局の I P 型放送を出力不可能な場合、または、前記選択局の I P 型放送のコンテンツ

が音声を含まない場合には、前記コンテンツ出力ステップにおいて、放送型放送の音声を出力させる出力制御ステップ、
を備えることを特徴とする放送受信機制御方法。

【請求項 4】

選択局の放送波型放送のコンテンツ、又は、前記放送波型放送に対応付けられており、かつ、IP型放送のコンテンツであって音声又は、動画、音声及び静止画から1以上を選択して組み合わせられたコンテンツ、を出力するコンテンツ出力ステップ、及び
前記選択局のIP型放送を出力可能な場合で、かつ、前記選択局のIP型放送のコンテンツが音声を含む場合には、前記コンテンツ出力部に、IP型放送の音声を出力させ、前記選択局のIP型放送を出力不可能な場合、または、前記選択局のIP型放送のコンテンツが音声を含まない場合には、前記コンテンツ出力ステップにおいて、放送型放送の音声を出力させる出力制御ステップ、をコンピュータに実行させる放送受信機制御プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の目的は、ユーザに便宜となる放送受信機、制御方法及びプログラムを提供することである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明の放送受信機は、選択局の放送波型放送のコンテンツ、又は、前記放送波型放送に対応付けられており、かつ、IP型放送のコンテンツであって音声又は、動画、音声及び静止画から1以上を選択して組み合わせられたコンテンツ、を出力するコンテンツ出力部、及び

前記選択局のIP型放送を出力可能な場合で、かつ、前記選択局のIP型放送のコンテンツが音声を含む場合には、前記コンテンツ出力部に、IP型放送の音声を出力させ、前記選択局のIP型放送を出力不可能な場合、または、前記選択局のIP型放送のコンテンツが音声を含まない場合には、前記コンテンツ出力部に、放送型放送の音声を出力させる出力制御部、
を備える。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明の放送受信機制御方法は、選択局の放送波型放送のコンテンツ、又は、前記放送波型放送に対応付けられており、か

つ、ＩＰ型放送のコンテンツであって音声又は、動画、音声及び静止画から１以上を選択して組み合わせられたコンテンツ、を出力するコンテンツ出力ステップ、及び
前記選択局のＩＰ型放送を出力可能な場合で、かつ、前記選択局のＩＰ型放送のコンテンツが音声を含む場合には、前記コンテンツ出力部に、ＩＰ型放送の音声を出力させ、前記選択局のＩＰ型放送を出力不可能な場合、または、前記選択局のＩＰ型放送のコンテンツが音声を含まない場合には、前記コンテンツ出力ステップにおいて、放送型放送の音声を出力させる出力制御ステップ、
を備える。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

本発明の放送受信機制御プログラムは
選択局の放送波型放送のコンテンツ、又は、前記放送波型放送に対応付けられており、かつ、ＩＰ型放送のコンテンツであって音声又は、動画、音声及び静止画から１以上を選択して組み合わせられたコンテンツ、を出力するコンテンツ出力ステップ、及び
前記選択局のＩＰ型放送を出力可能な場合で、かつ、前記選択局のＩＰ型放送のコンテンツが音声を含む場合には、前記コンテンツ出力部に、ＩＰ型放送の音声を出力させ、前記選択局のＩＰ型放送を出力不可能な場合、または、前記選択局のＩＰ型放送のコンテンツが音声を含まない場合には、前記コンテンツ出力ステップにおいて、放送型放送の音声を出力させる出力制御ステップ、
をコンピュータに実行させる。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１８】

本発明によれば、ユーザに便宜となる放送受信機、制御方法及びプログラムを提供することができる。